

行/事/予/定

7月~9月

- 7月 6日(日) 第37回大歳地区卓球大会【大歳小学校】
- 7月 9日(水) 大歳小学校 地区別一斉下校 見守り活動日
- 7月13日(日) 大歳草刈隊活動日
- 7月18日(金) 大歳小学校・鴻南中学校1学期終業式
- 7月19日(土)~20日(日) キッズフェスティバル【大歳小学校】
- 7月21日(月) おおとし防災の日
- 7月26日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月 2日(土) 第28回おおとし夏まつり【大歳小学校】
- 8月 9日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 8月23日(土) 第4回大歳地区グランドゴルフ大会【大歳小学校】
- 8月23日(土) 大歳地区青少協 夜間安全パトロール【大歳地区内】
- 9月 6日(土) 鴻南中学校 体育祭【鴻南中学校】
- 9月14日(日) 山口市民体育大会【維新公園陸上競技場ほか】
- 9月25日(木) 高齢ドライバー1日ドック【山口県交通安全学習館】
- 9月27日(土) 大歳地区敬老祝賀会【県総合保健会館】
- 9月28日(日) 交流列車おおとしまつり【交流列車おおとし】
- 9月28日(日) 第36回大歳地区バドミントン大会【スポーツセンター】



ホームページも見てね!

大歳自治振興会

検索

おおとしかわらの路

Information

「おおとし見守り隊」隊員募集!

「できる時にできる事を無理のない範囲で」を基本理念に、見守りができる場所でできる時間で立哨やパトロールを行っていただく方を募集します。

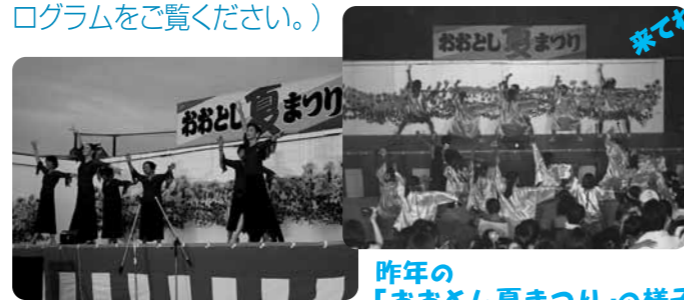
お申込み、お問い合わせは、大歳自治振興会事務局まで(☎920-1700)



見守り隊の立哨の様子

今年の「おおとし夏まつり」では「送迎用シャトルバス」を運行します!

8月2日のおおとし夏まつりは、自転車ではちょっと遠いお年寄りの方や、小さいお子さんがいてちょっとおっくうなヤングファミリーの方に気軽においで頂けるよう「送迎用シャトルバス」を運行することにしました。是非おいでいただき、夏まつりを楽しんでください。(詳しくはプログラムをご覧ください。)



昨年の「おおとし夏まつり」の様子

かわら版アンケートの募集

皆さんの声を聞いて、できるだけ多くの方に読んでいただける誌面づくりをめざしています

あなたは、この「まちづくりかわら版おおとし」でどんな記事が読んでみたいですか?

次の中から選んでください。(複数回答可)

- ア. 大歳の地域づくりに関すること
- イ. 大歳の行事やイベント
- ウ. 大歳の歴史や史跡
- エ. 大歳で活躍している人
- オ. その他…具体的に

・回答先・方法

大歳自治振興会 事務局へ

TEL(☎920-1700)、FAX、メール

・締切7月31日まで

・抽選により10名の回答者に粗品を進呈します

編集後記

昨年、阿東地域で大きな災害が発生しましたが、伊豆大島でも大雨による土砂災害で多数の死傷者がありました。また、フィリピンのミンダナオ島では、台風による高潮で何千人もの死者が出ています。伊豆大島は雨の多く降る場所であり、ミンダナオ島も台風の通過が多い場所であったことから慣れとなり、避難しなかったことが大災害につながったとも報じられています。これからの季節は、台風の上陸や大雨が予想されるだけに油断はできません。各自がそれぞれに自主防災を心掛ける季節でもあります。(堂迫)

まちづくりかわら版 おおとし

おおとし防災研修会

6月7日(土) 参加90人!



テーマ ——— 自分たちのまちは 自分たちで守る



講師の幸坂美彦さん

「7・21おおとし防災の日」にちなんで防災事業を毎年開催しておりますが、今年度は自主防災組織のみなさんの要望等に応じて、講演会ではなく、実践的な講演と演習としてみました。どのようなしかけや取り組みで、自主防災組織を動かしていくのか、また「防災訓練計画」の策定に向けて、地域での防災訓練を実施するために必要な事は何か、どのように仕掛けていくのかなどを学びました。最後に訓練用の模擬消火器を使った「初期消火訓練」を行いました。

九州南部、四国、関東方面の大雨をしり目に、大歳は好天に恵まれ、たくさんの方が参加されました。

自主防災組織づくりの基本についての講演の後、具体的な取り組みをどう進めていくのかをみなさんと話しあって頂きました。まず、簡単にできる地域の危険箇所を洗い出して「地域防災マップ」づくり作業を各自治会毎の地図を基におこなって



消火器の説明をする消防本部予防課の方

初期消火訓練の様子

頂きました。「あそこが危ないね」「いや、こっちの方じゃね」と話がはずみ、設定の時間をオーバーするほど話し合いは盛り上がりしました。

また、この中で、道路や河川は他の自治会につながっているのだから、自分の自治会内だけでなく、隣接する自治会との連携がなければ、本当にきちんとした防災マップや避難場所設定はできないのではないのかなどの意見も出され、皆がうなづく場面もありました。

さらに「高齢者ばかりだから何もできん」とあきらめるのではなく、「何からならできるのか」「どうしたらできるのか」を考えていく中で、新たな知恵も湧いてくると確認できたことも大きな収穫でした。

初期消火訓練も実施しました

訓練に際し、消防本部予防課の方からは、消火器の種類や機能について説明があり、住宅用火災報知機の設置とあわせ、一般の家庭への消火器の必要性が説明されました。

一方、参加者からは、消火器の購入先やだいたいの価格等について質問があり、消火器の種類も多く、価格帯が広いと、販売をしている防災グッズを扱う業者やホームセンター等に問い合わせの上、自身の家に適した消火器を購入することが肝心とのアドバイスがなされました。

7月21日は おおとし 防災の日

忘れないで!



# 自主防災組織で頑張っています!

「自分たちの地域は自分たちで守る」を合言葉に皆で活動しています。

現在、大歳では全28自治会中、自主防災組織が16団体結成され、半数を超えるまでになりました。もちろん、活動状況は様々で、課題もたくさん残されていますが、組織化されれば、防災委員が中心となって、防災講演会や地域ハザードマップづくりなどが進んできていることは確かです。

山口市作成の大歳地区のハザードマップでは、大歳小学校、鴻南中学校、交流センターが避難場所となっていますが、現在でも「最初に水につかるような場所に避難できるのか」などの声があがっていますし、もし吉敷川が決壊すれば、吉敷川から北の地域からは、川を渡って小学校やセンターにたどり着くことは不可能です。そのため、緊急時の避難場所としてはふさわしくありません。ですから、各自治会で予め災害を予想した緊急避難場所や避難経路を考えておくことが、どうしても必要になります。また立木の倒壊などで、道や川をふさがれ、逃げ場を失うなど「不測の事態」も起こるかもしれません。予め、そうした危険を除去する取り組みなども大切な防災事業です。まず、防災組織を、そして「各自治会の防災マップ」をあらゆる事態に対応できるものにしていく作業が今後、必要ではないでしょうか。



おおし勝井自治会  
自主防災部  
のハザードマップ  
勝井自治会では、  
防災委員と講師の  
幸坂さんが何度も  
調査し、会議を重ね  
てハザードマップ  
を作成しました。



各自治会に分かれハザードマップについて話し合っている様子(6月7日のおおし防災研修会で)

## ●自主防災組織の代表者に伺いました

6月7日のおおし防災研修会で、防災委員さんにアンケートを実施し回答があったものを掲載しています

自主防災組織名	内容	発足は?	危険箇所を見回した	講習会等を開いた	ハザードマップ等の作成	これから、どんなことをして、自治会内の防災力を高めていこうと思いますか?
富田原自主防災会		昨年		○	検討中	
今井上自主防災会		昨年				会員の参加を促して、会合が出来ればよいと思う。
上湯田下自主防災会		3年前			検討中	地区内で講習会の開催を検討中。危険箇所の点検をしたい。
周布団地自主防災会		今年				今年度の活動は初年度なので、以下の点について取り組んでいきたい。 過去の被災歴を周辺の自治会の協力を得て取得する。 今年の梅雨、台風時期の被災状況を記録にとどめる。 秋の清掃活動の集まりを活用して、危険箇所を自治会員で見回り、ハザードマップ作成の基礎資料づくりをする。
矢原住宅自主防災会		3年前	○			防災倉庫を作成中。会合時等に自主防災の意識を高める。秋に炊き出し訓練を予定中
矢原第二住宅自主防災会		3年前			作成済	
下湯田自主防災組織		昨年		○	検討中	連絡網はあるが実際に連絡を取ってみる。
大歳岩富自主防災会		3年前	○			
おおし勝井自治会自主防災部		2年前	○		作成済	
三作自主防災組織		3年前		○		マップの作成、備品の点検
おおし高井住宅下自主防災会		3年前			検討中	
おおし河内自主防災会		3年前	○	○		防災研修会、危険箇所の見直し・意見交換、各自の連絡先の表示

## 副会長3名制で地域力アップを!

第2次大歳地域づくり計画年度が始まりました。

この計画をすすめる上で、これからも力を発揮していただきたいのは自治会長さんです。そのため、地域づくりに頑張る自治会長さんを支える体制づくりが重要と考え、自治会長会の独立性を高め、自治会長さんの意見を反映しやすくなるよう規約も変え、大歳自治会会長さんが自動的に自治振興会副会長になっていただくことにしました。

また、福祉関係担当、地域づくり組織全体の調整、推進担当の副会長と役割分担を明確にし、3名体制で地域力アップに努めます。

## 大歳歴史の散歩道 Vol.6

街道は長い歴史を反映して様々な遺物を残しています。大歳橋をわたって、左手の最初の家の庭に庚申塚があります。街道沿いにあったものを庭に移して丁寧に保存されています。又、供有橋を渡ったところには、一等水準点の標識があります。JA大歳支所の少し先の左手には黒川市の恵美須社を祭るほこらがあり、側に大歳史談会の説明板がたっています。

黒川市は大内時代(14から16世紀)に市がたつようになったことが地名の由来と言われ、この地域の商業の中心だったと思われます。もっとも、古代から中世に叢出した市は商品経済の発達が不十分なために、特定の日にだけ近隣から人々が集まり、取引を行ったのですから、その量には限り



恵美須社



庚申塚

## 大歳小学校屋内運動場と給食室の建替え工事が始まります。

いよいよ、夏休みが始まりますが、夏休みに入るとすぐに、来年の2学期供用開始を目指して、大歳小学校の屋内運動場と給食室をそれぞれ約2倍に拡大する建替え工事が始まります。

これに伴い、運動場の約3分の1が作業用の仮囲いをされるため、使用できなくなります。「夏まつり」や「おとし祭り」及びスポーツ活動に支障をきたすことが見込まれますが、ご理解とご協力をお願いします。



現在の大歳小学校体育館

## 黒川市の恵美須社

があります。やがて、常設的に商品を棚などに並べて、人々に見せて売る家々が現れます。これがお店(おたな)とか店(みせ)屋と呼ばれて、近世以降の商業活動で中心的役割を果たすようになります。残念ながら、黒川市は商取引の集中した山口という町場に近すぎて、このような発展の系譜からは外れたようです。

また黒川市は小郡と山口の中間点にあるため、宿駅が設けられました。小郡・山口間は近いので黒川市には宿はありませんが、常に荷物や人を運搬するための馬の用意を義務づけられたのです。しかし、石州街道は東アジア貿易の富で栄えた大内時代が終わると、萩往還などに比べても交易路としての重要性が著しく低下します。このため宿駅業務はむしろ住民の負担が大きくなり、何度か藩に支援の強化を求めています。恵美須社は街道の賑わいの復活による商売繁盛をも願ったことでしょう。

現在の黒川市付近